

建武の新政と南北朝の内乱

1318年、(1…右の人物)天皇が即位します。そして、1324年に、この天皇は鎌倉幕府打倒を計画し、六波羅探題によって天皇の側近らを処分する正 中の変をおこします。

しかし、天皇には何の処分もありませんでした。

すると、1332年、この天皇がふたたび鎌倉幕府打倒を実行します。しかし、圧倒的な兵力の幕府軍に捕らえられ、天皇は島根県の隠岐に島流しになりました。



(2…年) 後醍醐は、鎌倉の幕府にとどめを1333



政権を取り返そうとして、(1)天皇は三度、全国の武士たちに鎌倉幕府を倒すように命令し、それを受けた楠木正成や御家人の(3…左の人物)、新田義貞(右)らが挙兵します。(3)が京都の六波羅探題を攻め、新田義貞が鎌倉を攻めて幕府を滅ぼしました。これらのできごとは、武士たちの鎌倉幕府に対する不満が爆発した結果と思われます。



(4…年) 後醍醐は天皇復活1334やい、と思ったそうじゃ

天皇が元号を建武と改めたこの改革を(5…?の新政)といいます。しかし、下の二条川原の落書(落書き)とよばれる資料からは、この新政での混乱が見て取れます。

このごろ 都ではやっているものは、夜討ち、強盗、にせの天皇の命令書、とらわれ人や急使の早馬、理由のないさわぎである。・・・成り上がり者が、なれない公家の身なりで御所に入出入りするのめずらしく、おかしいものだ。

この資料のにせの天皇の命令書は、なぜ出たのかを説明しなさい。…(記述 1)

さらに、天皇の政治はくげや寺社の利益を優先するもので、幕府を倒した武士たちにはほうびも少なく、新たに天皇の住まいの大内裏をつくるための税を取り立てたため、武士や農民たちの反感をかってしまいます。

上の文からわかる建武の新政が失敗した理由を、「天皇の政治は」という書き出しでまとめなさい。…(記述 2)

また、建武の新政には農民たちも不満をもちました。その理由をまとめなさい。…(記述 3)

追記…天皇や御所に仕えていた者たちは公家とよばれましたが、その公家たちは位階と官職によってランク付けが行われ、五位以上の位階に選ばれた者たちを貴族とよんでいたようです。

こうしたことから、足利尊氏は天皇に不満を持つ武士たちを集め、京都を占領し、天皇方についた楠木正成・新田義貞を破ります。1335年のことです。こうして、この新政はわずか2年余りで失敗に終わったのです。

そして、足利尊氏は1336年に京都に北朝(光明天皇)をたて、後醍醐天皇が奈良県の吉野に南朝をつくったため、日本に2つの政府がある状態になってしまいました。こうした内乱は約60年も続きます。

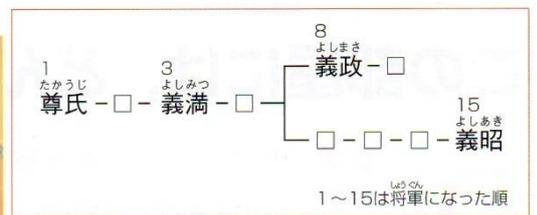
室町幕府の成立としくみ

1338年 尊氏が後醍醐の1338退治した



足利尊氏は、北朝の天皇から(6...役職名)に命じられ、京都に幕府を開きます。この室町幕府は、将軍の下に執権ではなく(7...漢字で)という役職をおいたすっきりとしたしくみです。その下の(8...漢字で)が軍事・警察を担当し、政所が幕府の財政、問注所が記録の保管を担当して中央の政治を行っています。地方は、鎌倉府が関東地方を支配し、(9)と地頭がその他の地方を担当しています。そして、この後の歴史は、(9)が任命された国を自分の国のように支配する戦国時代に入ります。

1368年、(10...右の人物)が第3代将軍になりました。この年は、中国で元が滅んで(11...国名)王朝が興り、朝鮮半島では高麗が滅んで朝鮮王朝になっています。



1378年、3代将軍が幕府を京都の室町に移します。

足利氏は、南北朝の内乱の中で各地の守護大名を味方につけて勢力を強めています。そのために南朝は衰え、3代将軍のころには全国のほとんどの武士が足利氏に従うようになっていました。

こうして、(12...年)に3代将軍足利義満が南北朝の合一を果たし、この後の約240年間を室町時代といいます。

(鎌倉は約140年間です。) 南朝は1392で合一へ

日明貿易

1404年、明が日本に対して、朝鮮や中国を荒らしていた(13...日本の海賊のこ)を取り締まることや、国交を開くことを求めてきます。このとき、国交を開いた足利義満は、1401年に明の皇帝から日本の国王であることを認められた印の(14...漢字で)と「日本国王源道義」の封号を授けられています。

日本の準皇后(太皇太后・皇太后・皇后に準ずる)であるAわたしが、手紙を明の皇帝陛下に差し上げます。日本は国が始まって以来、中国にあいさつの使者を送らなかったことはありませんでした。わたしは国政をつかさどり、国内の平和を保っています。そこで、B昔からのしきたりに従って、使いの僧に商人を同行させ、友好関係を結ぶため、土産物を献上いたします。

上の資料にあるAの人物とは足利義満のことで、Bを守らなかった日本の人物は(15...人名を漢字で。そのときの中国の王朝名は隋)です。

こうして、足利義満は日本から明に買物をもっていく朝貢貿易を始めます。このときの明は買物をはるかに上回る価値の中国の文物を授けたといいます。そして、この貿易を日明貿易、または(16)貿易といいます。(16)とは、明が日本の海賊と日本の貿易船を区別するために使わせた合い札のことで、



右はこの貿易で使われた(17…?船)です。船の帆はイネの茎でつくったむしろでできていたため、雨にぬれると重くなって転覆しやすくなり、航海はとても危険なものでした。しかし、室町時代の終わりごろから帆の材料が(18…材料名)にかわったことで、船の速度も上がり、安全な航海になるとともに輸送量も増えています。



また、朝鮮も、海賊の取りしまりを求めてきて、朝鮮と日本との間で正式な貿易が行われるようになっていきます。さらに、この国独特の文字である(19…右の文字)という文字がつけられたのもこの時代です。この貿易で、日本から輸出したものを①、明から輸入したものを②、朝鮮から輸入したものを③と分けなさい。

안녕 하세요

銅…(20) 硫黄…(21) 陶磁器…(22) 絹織物…(23) 木綿…(24) おうぎ…(25) 人參…(26) 漆器…(27)

また、日明貿易で日本から輸出した硫黄は何をつくるためのものかを答えなさい。…(記述 4)  
さらに、朝鮮から輸入した人參は何に使ったかを答えなさい。…(記述 5)



また、左は明から輸入した明銭で、今の漢字に直して書くと(28)となります。この時代は産業が発達したため、中国から輸入した貨幣が広く使われていました。鎌倉時代と同じように日本の貨幣は信用が無く、中国の貨幣が使われたのです。

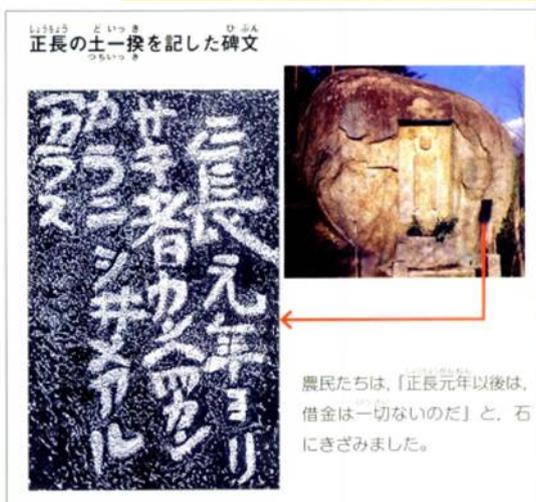
1429年には、尚巴志が今の沖縄である(29)王国をつくっています。

この国は、アジア各地を結び、ある国から輸入した品物を、そのままほかの国へ輸出する中継貿易で栄えるとともに国際交流のかけ橋の役割もしています。王国の船は明銭のほか、東南アジアの象牙や料理の味付けなどに使う香料などを積んで、大阪府の(30…当時の港町名)や福岡県の(31…当時の港町名)などにやってきていたため、これらは港町として発展しています。



土一揆

(32…年) 正長は徳政勝ち取り1428<



農民たちは、「正長元年以後は、借金は一切無いのだ」と、石にきざみました。

今の(33)県の近江国で(34…元号を漢字で)の土一揆がおきます。この年の(34)元年は、凶作に加えて疫病も流行し、民衆は苦しんでいました。そうした中、近江国の馬借や農民たちが苦しみから逃れようと、(35…借金を返さなくてよいという法律。?令)を要求した土一揆がおきたのです。このとき、(35)を勝ち取った農民たちは、「(34)以後、借金は一切無いのだ」と石に刻んでいます。

こうした借金取り消し令は、元寇の後に武士たちのために出された永仁の徳政令がその始まりです。

(36…年) 1485 っばい、山城一揆

今の京都にあたる(37…昔の国名)の国人(地方の小領主)が、農民と団結して(37)の国一揆をおこし、この地をおさめていた守護の畠山氏を追い出して8年間の自治を行っています。

(38…年) 宗教の1488強し、一向一揆

今の石川県の(39…昔の国名)の国で、一向宗の信者たちが中心になって(39)の一向一揆をおこしています。守護の富樫氏を滅ぼして100年間もこの国を支配しました。

一向宗とは浄土真宗のことで、鎌倉時代に法然の弟子の親鸞が開いた宗派です。



応仁の乱 義政さん、後継ぎ指名は1467

なかなか男の子が生まれなかった第8代将軍の(40…人名を漢字で)は、自分の弟を後継者にしました。ところがその後男の子が誕生したため、(41)年に細川勝元の管領家や山名宗全らの守護大名らを巻き込んだ争いの(42…?の乱)がおきます。この戦乱は11年間も続いて京都は焼け野原になってしまい、将軍の力は完全におとろえ、幕府は都のあった山城の国を支配するだけとなりました。下の資料は荒れはてた京都の町のような姿を嘆いた歌です。



応仁の乱

なれや知る 都は野辺の夕ひばり あがるを見ても落つる涙は  
 訳…あなたはご存知でしょうか。都は焼け野原となり、夕暮れにはひばりが空に飛び立って鳴くありさまです。  
 これを見るにつけても落ちる涙を止めることができません。

また、第8代将軍の妻が(43…人名を漢字で)です。この女性がこの戦乱を起こしたとして、日本の三大悪女の一人と言われますが、その後の研究では、長引く応仁の乱を終わらせようと力をつくしたことが分かっています。

農業

鎌倉時代に西日本で始まった二毛作は、この室町時代には東日本や各地に広まっています。稲の品種改良も進み、早くに実をつける(44…ひらがなで)や、遅くに実がなる



晩稲などの品種がつくられるようになっていきます。また、水車で水を上げるなど、かんがいのやり方が発達したことや、いろいろな肥料を使うことで農業の生産が飛躍的に向上したのもこの時代です。

肥料に人糞や木綿の実、えごまから油をとったあとのしぼりかすも使うようになっていきます。

また、日朝貿易で木綿やにんじんが輸入され、茶やうるし、油の原料のえごまなど、手工業の原料を栽培するところも増えて、各地で特産物ができています。それを語群から選び記号で答えなさい。

愛知県三河の(45) 京都府宇治の(46) 和歌山県の(47) 山梨県の(48) 京都府西陣の(49) 岐阜県美濃の(50)

- アぶどう イ茶 ウみかん エりんご オサトウキビ カ綿花 キ絹織物 ク和紙 ケ有田焼

とくに、木綿は朝鮮から大量に輸入され、貴族や僧・武家などが使う高級な衣服として使われていました。



また、木綿はじょうぶなため、この後の戦国時代には兵士が着る衣服や鉄砲の火縄などにさかんに使われています。各地の戦国大名が領地で綿花の栽培を奨めたのです。また、船の帆や地引き網などの漁にも使われ、沿岸の漁業も急速に発達していきます。さらに、木綿は肌ざわりがよくあたたかいうえに、汗をよく吸収して衛生的です。このようにして、人々の衣服に木綿が使われるようになったことが、その後の日本人の寿命がのびた大きな理由の一つと考えられています。そして、その後の江戸時代の18世紀にはそのほとんどが国内で栽培されるようになっていきます。

### 農村の自治

生活が向上してきた農村では、南北朝時代のころから、有力な農民が指導者になって自ら村の自治を行うようになっていきます。こうした村を(51…ひらがな可)といいます。村のおきてを決めるときは(52…漢字で)という会合を開いて決めています。会合は神社などで開かれ、村で共有している山林やかんがい用水の管理、村の祭り、年貢の納入などについて話し合っています。さらに、一揆の相談もこうした会合で決められ、山城の国一揆の相談は宇治の平等院で行なわれています。



とくに、里山は落ち葉を肥料にしたり薪や木材を生産したりする重要な財産のため、村のおきてとして、次のようなきびしいきまりが決められていました。

- 一 (52)に二度欠席した者は罰金を払うこと。 一 村の森で苗木を切った者は罰金を払うこと。
- 一 犬を飼ってはならない。 など。

上のきまりで犬を飼ってはならない。としてある理由として考えられることを2つ答えなさい。…(記述6)  
また、このようなきびしいきまりがあったのは、村の山林には人々の生活に重要なはたらきがあったためです。このはたらきを3つ答えなさい。…(記述7)

### 商業

鎌倉時代に月3回開かれていた定期市が、この時代には月に6回も開かれるようになっていきます。

右は馬を使って物資を運ぶ運送業者の(53)です。さらに、年貢を運んだり保管したりする問丸から発達した卸売業の(54)も交通の要地にできています。



人口の多い京都や奈良では、品物を保管しておくための土蔵をそなえた(55…今の質屋にあたる)や酒屋が高い利子で庶民に金を貸して富をたくわえるようになっていきます。

そして、行商人や寺社の門前につくられる店も増えていきます。これが寺社を中心に発達した(56…?町)の始まりです。この町では(57…寺名)の門前の長野市などが知られています。…「牛に引かれて(57)参り」

庶民の暮らし

この時代は、今の私たちの日常生活の出発点となったものが数多くあります。1日の食事が2食から3食になったのもこの時代です。大豆からつくるとうふ、まんじゅう・うどんなどがつくられるようになり、調味料のみそやしょう油が広まったのもこの時代です。

さらには、着物の袖が短い小袖とよばれる衣服ができ、江戸時代に袂が長くなって現在の着物の形ができあがっています。また、町や村の祭りの盆踊り、正月・羽根つき・節句などの行事もこの時代に始まっています。

そして、日本を代表する茶の湯・生け花・能や狂言・水墨画・庭づくりなどの文化や技術もこの時代に完成しています。また、和歌の上の句と下の句を交互に詠みあう連歌もさかんになりました。連歌は宗祇という人物が大成しています。さらに、「一寸法師」や「浦島太郎」などのお伽草子という読み物が庶民に親しまれています。

右は平安時代に始まり、しばらくの間中断されてこの時代に復活し、現在も続いている京都の祇園祭です。



下のことがらの中に、室町時代に始まったものが(58…数字で) 個あります。

味噌	とうふ	醤油	ソース	まんじゅう	カステラ	うどん	盆踊り	ひな祭り
祇園祭	節句	節分	正月の行事	月3回の定期市	茶の湯	生け花	狂言	能楽
門前町	1日3食	二毛作が西日本に広まる		おとぎぞうし(一寸法師など)		竹取物語		
肥料に灰や人糞を使う		連歌	俳句	水墨画	小袖(着物)	水車をかんがいに使う		

文化

3代将軍足利義満のころの文化を(59…?文化)といい、その代表が右の(60…建物名)です。将軍の死後は(61…寺名。ひらがな可)という寺になっています。3代将軍のときが一番栄え、将軍の豪華な屋敷は(62…?の?)とよばれました。



この時代は武家と公家の文化が民衆に広まった独特の文化が発達した時代です。その原因のひとつに応仁の乱があります。そのことを「応仁の乱をさけて」という書き出しで答えなさい。…(記述 8)

右は乱のあとに8代将軍足利義政が京都の東山に建てた別荘で、(63…?文化)の代表の(64)という建物です。

ひさしの裏に銀箔をはって月の光が部屋の奥までとどくようにした作りだったそうです。義政の死後は(65)という寺になっています。



また、ここに使われている床の間などの今日の和風建築のもとになった建築様式を(66…漢字で。右の左側の写真)といいます。1階がこのつくりで、2階は禅宗様からなっています。

(66)と今までのちがいは、柱が角柱になったことです。それまでは、丸太と同じような円柱の柱が多かったのですが、新しい工具が用いられるようになり、木材を加工しやすくなったのです。右の丸太から角材を切り出すときに使うのこぎりを(67…ひらがな可)といいます。角材が使われるようになると、ふすまや障子で間仕切りをして、いくつもの部屋が独立するようになりました。また、床には畳が敷きつめられました。それまでの畳は部屋の一部にだけ敷くものだったのです。



大鋸を引いて板を切り出す職人



左は明に渡って絵を学んだ(68…人名)がえがいた[山水長巻]と「天橋立図」です。

右の京都の龍安寺の石庭は、水や木を使わずに石と白い砂で山や水を表現する技法の(69)といいます。

また、足利義満の保護をうけて、父の(70…人名)とともに、能楽を大成した人物が(71…人名)です。田植えのときに豊作を祈って踊った田楽や、祭りのときに演じられた猿楽がもとになっています。



さらに、能楽の幕の間に演じられた(72…左写真)は、社会を風刺(社会のできごとを批判したり不満に思う権力者をあざ笑ったりすること)した内容が多く、せりふも当時の話しことばを使って演じられたことや、喜劇も演じられて庶民にも分かりやすかったため、とても喜ば



れています。このように日本文化を代表する芸能などが完成したのもこの室町時代です。